

# あさひの防災

号外 2020年 9月 ●保存版●

## 地震編



今後30年以内に横浜市で震度6弱以上の大地震が発生する確率は、82%といわれています。私たちの大切な人の命を奪うかもしれない大地震へ備えるために、できることから始めましょう。

☎ 総務課危機管理・地域防災担当 ☎ 954-6007 ☎ 951-3401

▼A4に折り畳んで、防災グッズと一緒に保管しよう!▼

-----ヤマオリ-----

-----ヤマオリ-----

-----ヤマオリ-----

## もしものためのいつもの備え

### 事前に登録して防災情報を集めよう

#### 横浜市防災情報Eメール

地震、津波、気象警報・注意報、河川水位、緊急のお知らせなどを配信します。

**登録方法**→下記メールアドレスへ空メールを送信すると、登録案内メールが届きます。  
☎ entry-yokohama@bousai-mail.jp



#### Yahoo! 防災速報

横浜市からの防災緊急情報を配信します。

**利用方法**→スマートフォンでアプリをダウンロードするか、パソコンや携帯電話で利用できる「メール版」に登録してください。



#### あさひ安全・安心かわら版

区役所から携帯電話などに区内の防災・防犯情報をメールで配信します。

**配信内容・登録方法**

→



#### 旭区ツイッター

平時は旭区の魅力や子育て情報、防災・災害情報を、災害時には正確な緊急情報を配信します。



### 備蓄品チェックリスト

- 飲料水(1人1日分で3リットルが目安)  
1人3リットル×家族の人数×3日分=必要数\_\_\_\_\_リットル
- 食料品(クラッカーや缶詰など調理せずに食べられるもの)  
※食物アレルギーのある人は、自分に適したものを備蓄しましょう。
- トイレパック(1日あたりの平均排泄回数は5回といわれています)  
1人5回×家族の人数×3日分=必要数\_\_\_\_\_個
- マスク、体温計などの感染症対策物品
- 懐中電灯・ランタン・携帯ラジオ(停電への備え)  
※蓄電池やポータブルソーラーパネルの活用も有効です。

最低3日分  
(できれば1週間分)  
用意  
しましょう

### 非常持ち出し品チェックリスト

- 貴重品**→免許証・保険証 現金・預貯金通帳 印鑑
- 日用品**→眼鏡・コンタクトレンズ ビニール袋 タオル
- ティッシュペーパー・ウェットティッシュ
- ヘルメット 軍手
- 常用薬・救急医薬品
- 紙皿・紙コップ
- 厚底の運動靴



※上記は一般的な備蓄品・非常持ち出し品です。

詳しくは☎をご確認ください。





# 大地震発生時の避難行動の流れ

避難が必要なときは、周りの状況に応じて避難ルートを考えてみましょう。また、危険がない場合はあえて避難する必要はありません。

自治会・町内会など地域で取り決めている避難場所です。

火災が広がっている場合

倒壊や火災により自宅で生活できなくなった場合

地震による延焼火災の熱や煙から生命・身体を守るために一時的に避難する場所です。

近くの広域避難場所 \_\_\_\_\_

倒壊や火災により自宅で生活できなくなった場合

横浜市内で、震度5強以上の地震が1か所でも観測された場合に開設する避難所です。避難者が一時的に生活するための最低限の食料・水、救助資機材などが整備されています。

近くの地域防災拠点 \_\_\_\_\_

専門職(保健師)などの判断をもとに、区役所が受け入れを決定

高齢者や障害のある人など、地域防災拠点や自宅での生活が困難で、特別な配慮を必要とする人のための二次的な避難所です。

震災時にけがをしたり病気になったりした場合は、症状の重さなどに応じ、診療可能な医療機関で受診できます。いざという時に備え、地域にある医療機関を日頃から調べておきましょう。

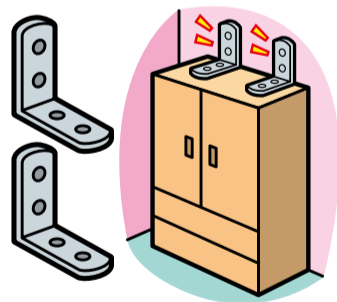
-----タニオリ-----タニオリ-----タニオリ-----

## 「在宅避難」という選択を！

新型コロナウイルス感染症による影響が続く中、大地震が発生した場合、地域防災拠点(避難所)は3密(密閉、密集、密接)の条件がそろいやすくなります。自宅の安全が確保できているか確認し、「在宅避難」という選択ができるようにしましょう。

過去の震災では、家屋の倒壊は免れたものの、家具の散乱によって在宅避難ができず、避難所生活を余儀なくされた例もあります。家具の転倒によってけがをする危険性もあるため、転倒防止対策を行いましょう。

**L字金具**  
(壁に強度が必要)



**粘着マット**  
(有効期限に注意)

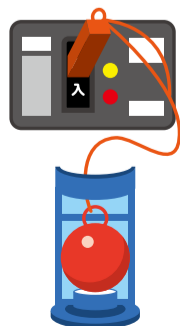


**つっぱり棒**  
(天井に強度が必要)

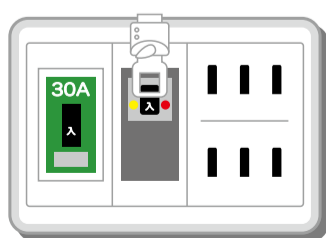


過去の震災では、発生した火災の6割以上が電気に起因するものだとわれています。

感震ブレーカーは、大きな揺れを感じると電気を自動的に遮断する器具です。地震後の出火を減らすため、感震ブレーカーの設置を検討しましょう。



(おもり式)



(ばね式)

震災初期の共助活動をリーフレット形式にまとめた「旭区ご近助マニュアル」を作成しました。「みんなで生き残るための取組み」をまとめているので、ぜひご確認ください。